

日本理学療法教育学会「査読者の心得」

基本方針について

本誌では可能な限り「前向き」に改善する方向性を示し、最終的により良い論文として本誌に掲載可能なレベルに到達させる建設的な査読を基本方針とする。したがって、査読者には著者に対して科学的論文を作成したことに対する敬意の念を持ったうえで、「あら探し」ではなく、「論文を良い方向へ導く」という発展的な姿勢が求められる。

査読について

査読者は、計画的に論点を整理したうえで、抽象的なコメントは極力避け、具体的な内容をコメントするように努める。また、査読者の持論を押し付けず、あくまで中立的、かつ論理的な対処が望ましい。さらに、著者の人格を攻撃するようなコメントを書いてはいけない。査読者は、論文審査を遅延させないように、査読期限を遵守するように努める。

守秘義務について

査読者は、査読の過程において得た情報に対して守秘義務を遵守しなければならない。また、査読者は、他者に査読を下請けさせてはいけない。